

自転車利用環境整備計画
策定に向けた取組について
(中間報告)

藤沢市

目 次

1 計画の目的・必要性.....	1
2 自転車利用の特性.....	2
3 本市の自転車利用状況.....	7
4 自転車利用に関する市民意識.....	14
5 国の自転車利用環境創出ガイドライン.....	15
6 自転車利用環境整備計画(案)の基本的な方向性.....	18
7 自転車ネットワーク路線の設定について.....	23
8 今後の取組と検討課題.....	35

1 計画の目的・必要性



1-1 目的

本市の都市マスタープランに位置付けている「自家用自動車交通のみに依存せず活動できる都市」をめざすため、本市の自転車利用実態を踏まえつつ、自転車ネットワークの構築や自転車走行空間のあり方、自転車利用者の交通ルールの遵守や交通安全に関するソフト施策など自転車利用環境の整備に向けた総合的な計画となる「自転車利用環境整備計画」を定め、本市の自転車の快適な利用環境づくりをめざしていくものです。

1-2 自転車を利用しやすい環境づくりの必要性

自転車を利用しやすい環境づくりの必要性としては、都市交通、市民生活、健康増進、環境の観点から、以下のようなことが考えられます。

①都市交通 ～都市交通の役割を担える環境づくり～

本市の都市交通手段の中で自転車交通は、約14%を占めています。自転車交通が都市交通手段の一つとしての役割を担える環境づくりに取り組む必要があります。

②市民生活 ～市民生活を支える身近な交通手段の環境づくり～

自転車は、様々な目的で市民生活を支える身近な交通手段として利用されています。また、高齢社会の進展から、免許を返納した元気な高齢者の移動手段として自転車が担う役割も増してくると考えています。このような面からも、自転車を利用しやすい環境づくりを進めて行く必要があります。

③健康増進 ～自転車利用による健康増進の促進～

自転車をこぐという理想的な運動により、生活習慣病に由来する死亡率が低減するなど自転車利用と健康増進の関連性についての研究が進められています。自転車を利用しやすい環境づくりを進め、自転車利用を促進していくことで、市民の健康増進にもつながる効果も期待できます。

④環境 ～環境にやさしい交通手段の環境づくり～

自転車は、二酸化炭素排出量がゼロという環境にやさしい交通手段となっています。環境面からも自転車を利用しやすい環境づくりを進め、低炭素型社会の構築に向けた都市づくりにつなげて行く必要があります。

2 自転車利用の特性

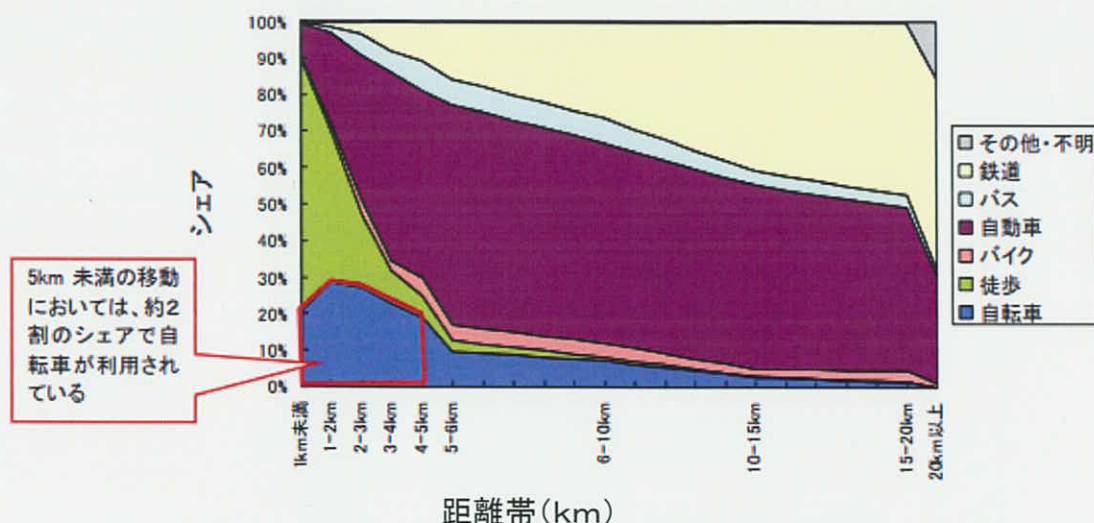


2-1 移動距離と交通手段別の利用状況

国内の自転車の利用状況を見ると、自転車利用の多くは10km程度までの移動距離で利用されていますが、特に、5kmまでの移動距離における利用が約2割を占めています。

他の交通手段別の利用状況を見ると、以下のようになっています。

- ・ 徒歩 → 徒歩での移動は5km程度までで収束しており、1km未満で約7割、1km～2km範囲で約5割と高い割合となっています。
- ・ バイク → 距離帯での特性はあまり見られない傾向となっています。平均すると約5%程度の利用状況となっています。
- ・ 自動車 → 1km未満からの距離帯でも約1割の割合となっています。特に、4km～20kmの距離帯で約5割超の割合となっています。
- ・ バス → 2km～3kmの距離帯から割合が増えており、平均すると約1割弱の割合となっています。特に、3km～10km位までの距離帯の割合が高くなっています。
- ・ 鉄道 → 2km～3kmの距離帯から割合が増えており、移動距離が増えるに従い割合が高くなる傾向が見られます。15km～20kmまでの距離帯では、約4割超の割合となっています。



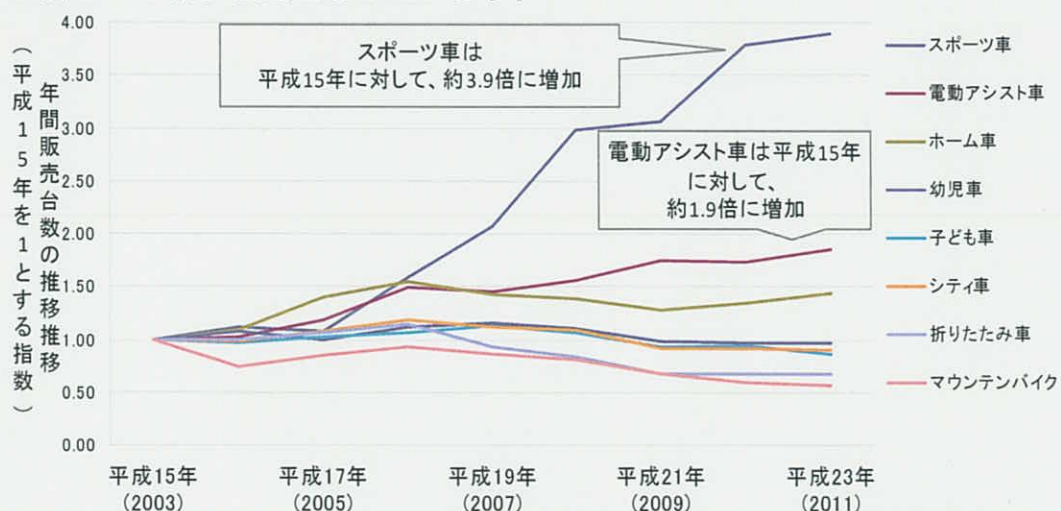
【出典:H17 全国都市交通特性調査(国土交通省)】

図1 交通手段別距離帯割合

2-2 自転車の車種別販売台数

国内自転車の平成15年から平成23年の車種別販売台数の推移を見ると、スポーツ車が約3.9倍に、電動アシスト車が約1.9倍と大きく増加しています。その次に、主に主婦用に設計されたホーム車が約1.4倍程度の増加となっています。

この他の子ども車、シティ車、マウンテンバイクなどの車種では、販売台数が横ばいか減少傾向となっています。



【出典：自転車国内販売動向調査((財)自転車産業振興協会)】

図2 国内における自転車販売台数の伸び率

図2の自転車車種の区分は、以下のように分類しています。

- ・**スポーツ車**：各種サイクルスポーツ、レジャー用に用いる自転車。ただし、ジュニアスポーツ車は含まない。
- ・**電動アシスト車**：充電用バッテリーを補助動力として設計された自転車。
- ・**ホーム車**：主に婦人用に設計された自転車。
- ・**幼児車**：主に学齢前の幼児が日常の遊戯用として用いる自転車。車輪は18インチ以下のもの。
- ・**子ども車**：主に児童が日常の遊戯及び交通手段に用いる自転車。車輪は24インチ以下のもの。また、子どもスポーツ車(ジュニアスポーツ、ジュニア用マウンテンバイク)を含む。
- ・**シティ車**：日常の交通手段(通勤・通学・買い物)に用いる自転車。
- ・**折りたたみ車**：折りたためる機能を持つ自転車。
- ・**マウンテンバイク**：荒野、山岳地帯などでの乗用に対応した構造の自転車。ただし、車輪が24インチ以下のジュニア用マウンテンバイクは含まない。



近年では、電動アシスト車や三人乗り自転車の開発・普及などにより、自転車利用者が年代や性別問わず幅広くなっています。

スポーツ車



【出典：GIOS ホームページ】

電動アシスト車



【出典：Panasonic ホームページ】

ホーム車



【出典：ブリヂストン ホームページ】

シティ車



【出典：ブリヂストン ホームページ】

マウンテンバイク



【出典：Cycle Europe Japan ホームページ】

三人乗り自転車



【出典：ブリヂストン ホームページ】

図3 自転車の様々な車種



2-3 自転車タイプ別の利用状況

自転車利用は利用目的別に自転車タイプ、速度、移動距離、時間帯、目的地を分類することができます。

表1 自転車利用の整理表

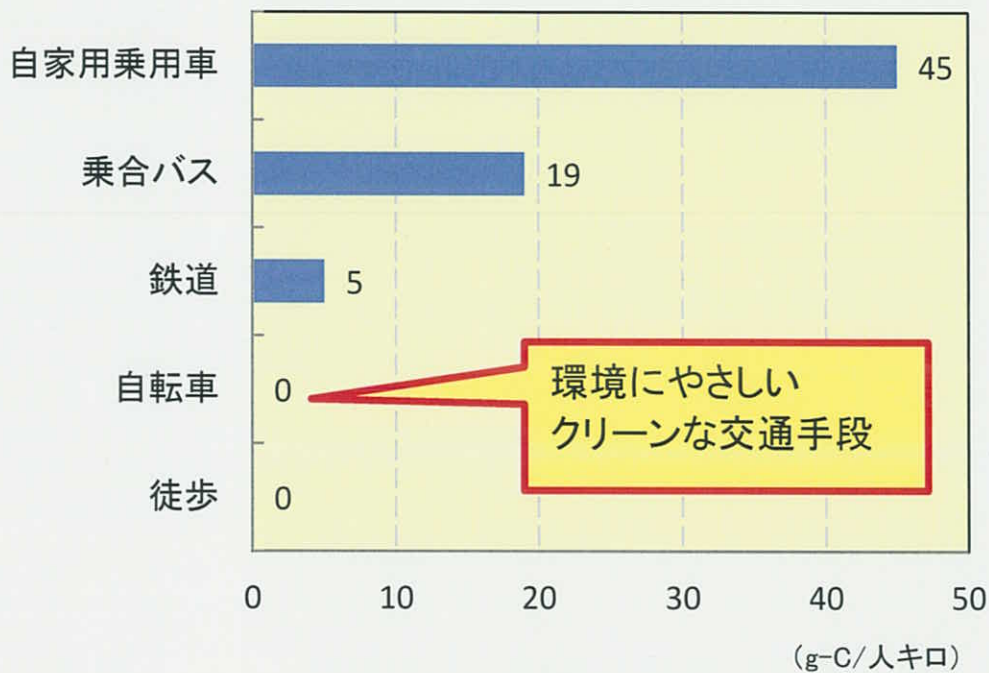
利用目的	自転車タイプ	速度	移動距離	時間帯	目的地
通勤・通学	・シティ車 ・スポーツ車	遅い 早い	中・短距離 (0.5~5km)	朝・夕	・鉄道駅 ・会社 ・学校
買い物 (私事)	・ホーム車 ・シティ車	遅い	短距離 (0.5~2km)	日中	・商業施設 ・鉄道駅
レジャー (観光)	・スポーツ車	早い	長距離 (市内-外)	日中(休日)	・公共・公益施設 ・観光スポット



2-4 自転車の環境面での特性

自転車、徒歩は、利用による二酸化炭素排出量はゼロであり、鉄道、自家用自動車など他の交通手段と比べてもその優位性は特出しています。

鉄道、乗合バス、自家用自動車の二酸化炭素排出量を比べると鉄道が最も少なく、次に乗合バスとなっています。



旅客輸送機関のCO2排出原単位

【出典:H24.11 安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン】

図4 二酸化炭素排出量の比較

3 本市の自転車利用状況



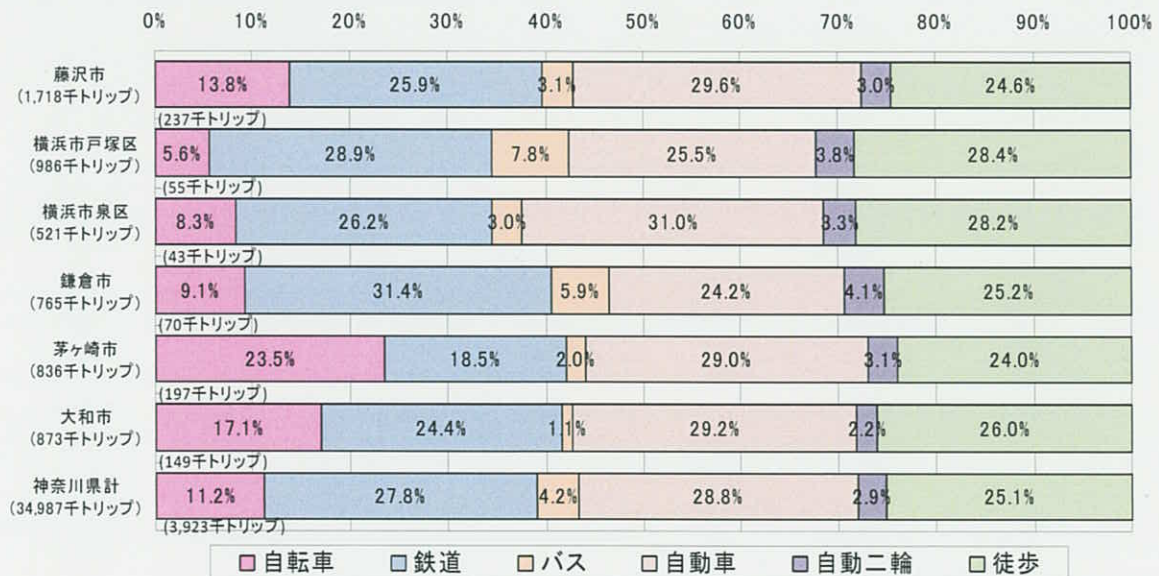
3-1 交通手段構成

(1) 交通手段構成(近隣都市との比較)

本市の自転車利用状況を見ると、自転車分担率は13.8%であり、神奈川県全体の自転車分担率11.2%と比べると高くなっています。

近隣都市と自転車利用状況を比べると、本市の東側に隣接する横浜市戸塚区が5.6%、横浜市泉区が8.3%、鎌倉市が9.1%と本市よりも低くなっています。一方で、本市の西側に隣接する茅ヶ崎市の自転車分担率は23.5%と非常に高く、また、北側に隣接する大和市の自転車分担率も17.1%と本市に比べ高くなっています。

各都市の自転車分担率の違いについては、鉄道網や地形の要因によるものが大きいと考えられます。例えば、自転車分担率の低い横浜市戸塚区や泉区はJR東海道線・横須賀線、横浜市営地下鉄、相鉄いずみ野線などの鉄道網が充実しているほか、起伏がある地形の影響によるものと思われる。一方、茅ヶ崎市や大和市は市域の地形が比較的平坦なことから自転車分担率が高くなっているものと思われる。



【資料:H20 東京都市圏パーソントリップ調査】

図5 交通手段構成(近隣都市との比較)

※1 交通手段構成とは、人が移動するときを利用する自転車や鉄道、バスなどの交通手段のうち、代表的な交通手段の割合を示したものです。

※2 トリップとは、人がある目的をもって、「出発地」から「目的地」へと移動する単位です。

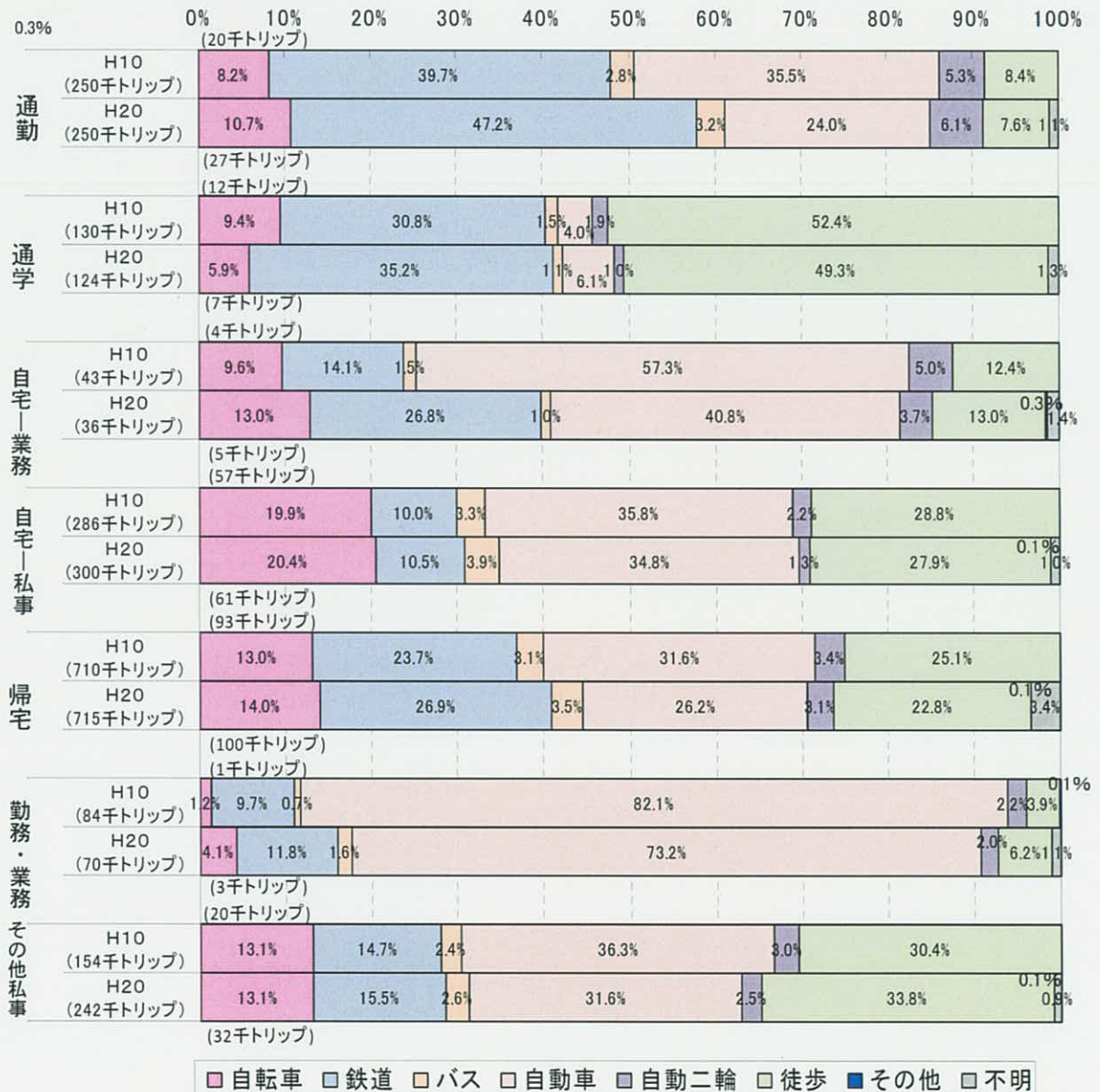
【例】1トリップ: 出発地 - (徒歩) → バス停 - (バス) → 駅 - (鉄道) → 駅 - (徒歩) → 目的地



(2) 交通手段構成(目的別の比較)

本市の自転車利用状況を移動目的別に見ると、「自宅—私事」が20.4%と一番高く、次に、「帰宅」の14.0%、「その他私事」の13.1%が高くなっています。

平成10年度と平成20年との移動目的別の変化を見ると、「通勤」、「自宅—業務」、「勤務・業務」で約3ポイント程度高くなる一方で、「通学」は3.5ポイント減少しています。



【資料: H10、H20 東京都市圏パーソントリップ調査】

図6 交通手段構成(目的別の比較)